



**鹿児島大学教育学部
同窓会会報**

第15号
平成25年11月20日
発行
鹿児島大学教育学部同窓会
〒890-0065
鹿児島市郡元1-20-6
電話099-285-7718
編集・印刷
（株）南日本新聞開発センター

第16回同窓会総会

教育学部沿革碑建立決議

平成25年度第16回鹿児島大学教育学部同窓会総会は8月4日、ジェイドガーデンパレス（旧翠園）4階において開催された。豊島真臣教育次長をはじめ、武隈晃教育学部長、坂尾隆・中山右尚両顧問のご臨席の下、北原稔幹事の進行で進められた。亡師、亡友の御霊に黙とうをささげた

後、池之迫静男会長はあいさつの中で、同窓会設立15周年を迎え感慨無量であり、特に鹿児島大学教育学部沿革碑の建立という新規事業について紹介があった。

豊島真臣教育次長からは、県教育委員会の取り組みに関する課題について紹介があった。基本目標として「あしたをひ

らく心豊かでたくましい人づくり」を掲げ、「確かな学力」の定着、「特別支援教育の推進」、「キャリア教育の推進」等について説明があった。

武隈晃教育学部長は、同窓会の活動に敬意を表するとともに、物心両面の支援に対して感謝した。鹿児島島の教育を語る会・国際交流基金、大学祭等への支援に対してお礼を申し上げたい。また、現在の教育学部の活動状況について述べられた後、平成16年度



から法人化され、一層の人材輩出に努力しているところである、と述べられた。

榎添利光理事の司会で協議に入った。文城テツ子副会長の会務報告の後、平成24年度決算報告・事業報告、平成25年度事業計画・予算案も原案



教育学部沿革碑建立の意義
鹿大教育学部同窓会長 池之迫 静男

第16回総会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

今年もまた、暑さの一番厳しいこの時に総会を開催致しましたところ、県教育委員会の豊島真臣教育次長をはじめ、顧問の先生方、多くの会員の皆さま方が、ご出席くださいましたことを、心から感謝申し上げます。

として、いかにも教育学部同窓会らしい活動を盛り上げていきたいという強い思いを抱き続けてきました。

教育学部同窓会は、よく知的集団であるといわれているとおり、知性と品格の溢れる同窓会活動を盛り上げていきたいものであります。

組織的な活動には、常に、

人の子ども、一人の先生、1冊の本、そして1本のペンで交わることができると堂々とテロ撲滅を訴え、その目的達成の理想を論じていました。

テロ撲滅のためには、「本と1本のペンが一番強い武器」であるという活動に対するマラさんの強い目的意識に感動しました。

次に、教育学部創立15周年の記念事業として「教育学部沿革碑」建立事業を企画しましたので、会員の皆さまのご理解とご協力をお願い致します。詳細については、協議の中で申し上げます。

教育学部に関わる138年の歩みの沿革碑を通しての建立により、同窓会の縦・横の絆はもとより、郷土鹿児島島の教育、文化の土壌作りの歴史を自覚して、母校への誇りを覚えるとともに、未来を切り開こうとする縁（よすが）としての沿革碑の建立であります。

謝申し上げます。

同窓会は平成10年1月発足、ここに15周年を迎えました。会員の皆さまのご協力、ご支援により、会則第2条の目的「会員相互の親睦、母校の発展と教育の振興を図ること」を目指して、同窓会のありべき姿を求めて、確かな歩み続けてまいりました。

私は常に、教育学部同窓会

会員一人一人が強力な目的意識を持って参加しなければならぬと思います。

先日、7月12日、皆さまもすでにご存じのことと思っておりますが、ニューヨークの国連本部において、パキスタンでのテロで頭を銃撃された16歳の少女、マララ・ユスフザイさんが、テロ撲滅のためには教育が不可欠だとした上で、「一

すでに、いくつかの学年、教科同窓会が出来上がっております。同窓会はお互いのボランティアな活動でありますから、会員の皆さまがアイデアを生かして、どなたでも先頭に立って会を盛り上げてほしいものです。

終わりに、本日の総会、懇親会等の企画、運営については、総務部を中心とした47年卒の代表者の皆さまのご協力によりまして、会員の皆さまを代表して感謝を申し上げます。開会のご挨拶と致します。ありがとうございました。

平成24年度特別会計決算 (単位:円)

(記念事業積立金)

1. 収入の部

区分	予算額	決算額	増減額
前年度繰越	12,500,000	12,500,000	0
合計	12,500,000	12,500,000	0

2. 支出の部

区分	予算額	決算額	増減額
記念事業積立金	12,500,000	0	△ 12,500,000
合計	12,500,000	0	△ 12,500,000
次年度繰越額		12,500,000	

平成24年度一般会計決算 (単位:円)

1. 収入の部

区分	予算額	決算額	増減額	備考
前年度繰越	648,086	648,086	0	
会費	2,250,000	2,250,000	△ 200,000	新入生 1,930,000円 卒業生 0円 在学生 20,000円 既卒者 100,000円 預金利息
雑収入	2,000	936	△ 1,064	
合計	2,900,086	2,699,022	△ 201,064	

2. 支出の部

区分	予算額	決算額	増減額	備考
事務経費	824,545	1,006,161	181,616	備品、賃金、通信費、不動産貸付料、文具等
会議費	500,000	258,863	△ 241,137	総会、理事会、役員会、専門部会等
事業費	890,000	967,963	77,963	会報作成費及び発送費、鹿児島島の教育を語る会支部、学年、教科同窓会補助、大学祭学部企画補助、連合会分担金
会計区分変更	446,583	446,583	0	特別会計へ移し替え国際交流基金
予備費	238,958	0	△ 238,958	
合計	2,900,086	2,679,570	△ 220,516	
次年度繰越額		19,452		

通り可決された。協議の中で、運営方針の一つに取り上げられた新規事業の「教育学部沿革碑建立」について再度具体的な説明があった。今後、沿革碑建立検討委員会を設置し、①設置場所の決定、②沿革碑文、③沿革碑の形態(モニュメントデザイン)、④建立建設業者の選定等について協議がなされ、「沿革碑序幕」となる。

懇親会については、平成24年度に決定されたとおり、師範・教育学部同窓会を引き継ぎ、毎年実施することになっている。懇親会の運営は、これまでの経緯を引き継ぎ、昭和47年卒業の皆さまが企画・運営の任に当たった。

進行役は、きりつと引き締まった和装の後藤千和子氏。浦口俊裕氏の開会あいさつの後、名誉会長の松元兼俊先生の「旅は道連れ、世は情け」と題して、ユニークで心温まるあいさつをいただいた。なお、本年度の参加者の中に東京都在住および神奈川県在住の参加者があり、今後、総会・懇親会への参加を呼び掛けることと、同窓会・教科部会の充実にもつながるものとして注目された。最後に「北辰斜めに」を47年卒者を壇上に、全員が高らかに歌い、次年度世話係を代表して、48年卒業純幸氏の元気なあいさつがあり、来年の多数の参加を祈念して幕を閉じた。

旅は道連れ、世は情け

同窓会顧問 松元 兼俊



ご指名をいただきました、松元兼俊でございます。僭越ではございますが、鹿大教育学部同窓会懇親会のご挨拶を致します。

私たちは、昭和24年に国立鹿児島大学教育学部に入學しました。一般教養学部の校舎は旧七高のバラックの教室でした。それから、伊敷の旧陸軍の兵舎を改造した教室で勉強しました。綾小路きみまろではありませんが、それから64年たちました。

人間は必ず老いてまいります。この事は「自然現象」であり、「正常老化」とも言えます。加齢につれて、さらに成熟していく能力もありません。老年期は決して「マイナス期」ではないのではありません。「いいワインは歳とともにいい味に成っていく。私もいつまでもいいワインでありたい」と。これはフランスの名優、アラン・ドロンの4度目に来日した折の記者会見での言葉です。

同窓会当日は、私たちの1年先輩に当たる昭和47年度卒業の方々が世話役をされ、受付から総会、懇親会までスムーズに運営されました。鮮やかな着物が会場を盛り上げ、余興もアコーデオンの伴奏つきで楽しい歌もありました。用意周到に準備された素晴らしい同窓会だったと思えました。それぞれの責任者の方々が緻密に計画され漏れがなく、担当会員の方々もて

きばきと良く動かれていたのが印象に残りました。総会についても全体的に、スムーズに流れていました。が、前列の席が空いていたので、座席指定は必要ないのではないかと思われました。また、総会後の現役生の発表の場が設けられた事が良かった。もっと時間を確保できれば、質疑もさらに活性化する

のではないかと思います。なお、懇親会の時間が間延びして、最後まで残られた会員が少なかったように感じられたので、終了時間をもっと早くした方がよいと思えました。学年同窓会は、出席者が少ない学年もあったので、それぞれ事情もあると思うが、学年幹事による早めの広報が必要でしょう。

今後、各学年幹事については、活動可能な人を選出しておくことが大事です。また、学年の恩師の参加をさらに多くして、会員が積極的に参加したくなるような魅力ある同窓会を企画することが重要であると思えます。また準備委員会に、3学年以外の卒業年度に近い学年幹事の参加も促し、同窓会の事前の周知と参加を呼び掛けることはできないか、検討してみてもいいでしょうか。当番学年になる前に多くの方々が出席されること、会の内容の充実にとさら

今年も多数のご参加をいただきました。本当にありがとうございました。ご参加の皆さまをはじめ、ご来賓の方、幹事役の方々に、心から感謝致します。

「旅は道連れ、世は情け」。その後どんな言葉が続くか、案外知られていないようです。「笠に、草鞋（わらじ）に、握り飯、かぶるその笠、時雨が意見、旅先立てるな、はらはらと」。人生という旅路の中で、腹を立ててはうまくいかないよとの教えでしょう

同じ釜の飯を食った者同士の絆と言いますか、仲間同士の友情はますます強まっています。この席を楽しく過ごしてまいります。年を取りますと口説くなりがちですので、これをもってご挨拶と致します。

同窓会当日は、私たちの1年先輩に当たる昭和47年度卒業の方々が世話役をされ、受付から総会、懇親会までスムーズに運営されました。鮮やかな着物が会場を盛り上げ、余興もアコーデオンの伴奏つきで楽しい歌もありました。用意周到に準備された素晴らしい同窓会だったと思えました。それぞれの責任者の方々が緻密に計画され漏れがなく、担当会員の方々もて

きばきと良く動かれていたのが印象に残りました。総会についても全体的に、スムーズに流れていました。が、前列の席が空いていたので、座席指定は必要ないのではないかと思われました。また、総会後の現役生の発表の場が設けられた事が良かった。もっと時間を確保できれば、質疑もさらに活性化する

のではないかと思います。なお、懇親会の時間が間延びして、最後まで残られた会員が少なかったように感じられたので、終了時間をもっと早くした方がよいと思えました。学年同窓会は、出席者が少ない学年もあったので、それぞれ事情もあると思うが、学年幹事による早めの広報が必要でしょう。

今後、各学年幹事については、活動可能な人を選出しておくことが大事です。また、学年の恩師の参加をさらに多くして、会員が積極的に参加したくなるような魅力ある同窓会を企画することが重要であると思えます。また準備委員会に、3学年以外の卒業年度に近い学年幹事の参加も促し、同窓会の事前の周知と参加を呼び掛けることはできないか、検討してみてもいいでしょうか。当番学年になる前に多くの方々が出席されること、会の内容の充実にとさら

第16回鹿児島大学教育学部同窓会懇親会を思う

昭和47年卒 世話係代表 浦口 俊裕



8月4日に実施された同窓会は、事務局の北原先生や野間さんに大変お世話になりました。お礼申し上げます。

当日は、同級生に9時に集まってもらい、受付開始時に説明をしましたが、簡単な説明だったにもかかわらず、皆さんはお願いした以上のことをしてくださりました。大きな仕事をされた方々にこんなことをお願いしていいものかと思いましたが、笑顔で進める仲間を頼もしく思うことでした。

懇親会は、和服姿の後藤千和子氏の凛とした中に優しく流暢な進行に盛り上がりました。県外から来られた方々を含め100名あまりの懇親会でしたが、代表の方々の心の

こもったお話を聞き取る中で、故郷の大事さや同窓の絆の強さを確認しました。また、川崎榮夫氏のアコーデオンの演奏で、鹿児島にゆかりのある「われは海の子」や「ふるさと」など全員で合

唱するうちに、懐かしい思いに駆られました。参加された皆さんもきつと友や父母を思い出し、故郷の良さを強く感じられたことでしょう。毎年、同窓会をされている学年も多いことでしょう。ぜひこの教育学部同窓会に合流していただければと思います。その後、学年独自のお楽しみ会をされてはいかがでしょうか。

準備の際にミスもありました。しかし、にこにここと広い心で見送ってくださる同窓の方々に頭が下がりました。係もそれぞれ離れた中での準備で、確認が不十分などところもありました。反省してまいります。

最後に、すべての関係者に感謝致します。本当にありがとうございました。



最後に、すべての関係者に感謝致します。本当にありがとうございました。

▼平成25年度教育学部同窓会予算 (単位：円) ▼

1. 一般会計

(収入の部)			
区分	平成24年度決算額	予算額	備考
前年度繰越	19,452	19,452	会費内訳
会費	2,050,000	2,470,000	24年度新入生 23年度卒業生(納入見込) 既卒者(見込)
雑収入	936	1,000	
合計	2,070,388	2,490,452	

(支出の部)			
区分	平成24年度決算額	予算額	備考
事務経費	1,006,161	1,034,545	備品100千円、賃金630千円、通信費70千円、不動産賃付料35千円、文具等50千円、その他150千円
会議費	258,863	230,000	総会、理事会、役員会等180千円、その他50千円
事業費	967,963	800,000	会報作成費200千円、会報送料150千円、鹿児島大学の教育を語る会200千円、支部、学年教科同窓会補助30千円、人材活用事業20千円、大学祭補助30千円、連合会分担金及び会議費110千円、各種交通費40千円、その他20千円
会計区分変更	446,583	405,935	特別会計(国際交流基金)へ組み替え ※昨年度支出額充当
予備費	0	19,972	
計	2,679,570	2,490,452	

2. 特別会計

(1) 記念事業積立金 (収入の部)			
区分	平成24年度決算額	予算額	備考
前年度繰越	12,500,000	12,500,000	
合計	12,500,000	12,500,000	

(支出の部)			
区分	平成24年度決算額	予算額	備考
記念事業積立金	0	12,500,000	
計	0	12,500,000	

(2) 大会開催等準備基金 (収入の部)			
区分	平成24年度決算額	予算額	備考
前年度繰越	1,053,146	3,141,271	
寄付	2,088,125		鹿児島師範・教育学部同窓会
合計	3,141,271	3,141,271	

(支出の部)			
区分	平成24年度決算額	予算額	備考
大会開催準備基金	0	3,141,271	
計	0	3,141,271	

(3) 国際交流基金 (収入の部)			
区分	平成24年度決算額	予算額	備考
前年度繰越	53,417	94,065	
新規積立	446,583	405,935	平成24年度支出済額を一般会計から組み替え充当
合計	500,000	500,000	

(支出の部)			
区分	平成24年度決算額	予算額	備考
国際交流基金	405,935	500,000	
計	405,935	500,000	

新規事業

「鹿児島大学教育学部 沿革碑」建立構想

①明治8(1875)年に始まる鹿児島県の教員養成の濫觴(らんしょう)である小学校講習所・小学正則講習所からの学校が、紆余曲折の長い歩みをたどってきた鹿児島大学教育学部の歴史とその今日的意義をとらえる。

②幾多の学校名の変遷をとおり、創立以来、わが国が近代国家樹立のため教育立国を目標として、学校教育制度の発展拡充に努めた実像を捉える。

③沿革碑によって、幾多の同級生が学校教育を中核として、南九州をはじめ、郷土鹿児島島の教育的、文化的な風土づくりに努め、豊かな県民性の涵養のため貢献してきたことを確認する。

④沿革碑を基に、これまで数知れない多くの学友たちが「教えの庭」に立ち、児童・生徒の教育に情熱を燃やした日々を回顧し、また、速き日の「学びの友」との絆を深める縁とし、さらに母校鹿児島大学教育学部の大いなる発展を願う。

沿革碑」建立構想

人間として大切なこと = 鹿児島の教育を語る会 =

第11回「鹿児島の教育を語る会」は、平成24年11月30日、教育学部管理棟・理系研究棟2階大会議室・小会議室において盛大に開催された。「人間として大切なこと」(サブテーマ「進取の精神」)をテーマに8グループに分かれて、教育学部の先生方・学生・卒業生(同窓会員)約100名が参加して多大な成果を上げた。

基調講演では、吉田浩己学長から「進取の気風にあふれる総合大学をめざして」と題して、大学憲章・学生憲章作成の経緯について触れながら、学生・教職員とも進取の精神を修得・発揮する「進取の気風」こそが、本学のアイデンティティーであると述べられた。グループ協議では、それぞれの専修学科ごとに学生が提言を行い、基調講演やサブテーマ「進取の精神」について協議が進められた。

グループ協議の後、交流の夕べ(懇親会)が教育学部生協食堂「エデュカ」で開催され、充実した交流と今後の活躍を祈念して会を閉じた。左に学生の提言と発表者を紹介する。

Table with 4 columns: 専修 (Specialization), 年数 (Years), 発表者 (Presenter), 提言 (Proposal). Rows include 国語専修, 社会専修, 数学専修, etc.

平成25年度 同窓会運営方針

- 同窓会は平成10年に発足して、ここに設立15周年を迎える。会員約18,000余人を擁し、鹿児島大学8学部の中で最も活力あふれる同窓会である。
1 創立15周年記念事業として、教育学部沿革碑を建立する。
2 組織の充実拡充のため、各学年同窓会の充実を図り、さらに県外同窓会の組織化に努める。
3 新しく発足した三専門部(総務、研修、広報)の組織化と年間活動の在り方を検討し、同窓会活動の活性化を図る。
4 在学生の諸活動の支援を充実し、同窓会活動への理解を深める。
5 同窓会主催による「鹿児島の教育を語る会」活動について、学生と卒業生の理解と活動の在り方を検討する。
6 鹿児島大学教育学部が行う国際交流活動や大学祭等への支援事業をさらに充実して、在学生への助成に努める。
7 各地域にいる同窓生がそれぞれの地域の要請に応じて、児童・生徒の諸指導、PTA活動や地域の公民館活動等へのボランティア活動を推進するために、「同窓会人材活用事業」の周知を図り、活性化に努める。
8 同窓会本部(事務局)の物的、人的整備に努め、事務局体制の確立に努める。
9 会則16条「会員は終身会費として1万円納付しなければならない」により、会員に会費の納入奨励月間を設けて、活動の充実を図る。

平成25年度事業計画

Table with 4 columns: 月 (Month), 事業名 (Activity Name), 実施時期 (Implementation Period), 備考 (Remarks). Lists various events like 総務部会, 代表との連絡会, etc.

国際交流基金活動 海外研修体験

生涯教育総合過程
地域社会専修4年
楠原 愛美

私は2012年の3月に10日間、台北教育大学へ研修に行っていました。研修に参加しようと思いましたが、私自身ができるだけの多くの日本以外の国を見てみたいという思いがあったことと、大学生である今の時期にしかできない経験をしたという思いがあったためです。研修内容は、平日は午前中が台湾に関する講義、午後は現地研修、休日は台湾の学生と観光に行くというものでした。研修生は鹿児島大学のほかにも大阪教育大学、群馬大学からも参加し、10日間という短い期間でしたが多くの貴重な経験をすることができました。



心に残っている思い出は、帰国前に台北教育大学の学生と日本の研修生とで集まって送別会をしたことです。感謝の気持ちと別れることの寂しさで思わず涙を流してしまいました。初めは10日間という期間でどこまで仲良くなれるだろうかと不安でしたが、10日間だけを楽しんで過ごさざるうらと思っていました。しかし、実際に研修が始まって一緒に行動するようになると、すぐにうちとけ、宿泊先でいろいろな話をしたり、自由



時間に一緒に過ごした日本の学生や台北教育大学の学生とは、今でも親交が続いています。研修に参加しなければ出会ったことのない人たちだと考えると、本当に幸せな出会いだったと感じています。思い切って参加してよかったと思える理由の一つです。

台湾の学生たちはいろいろな観光地を案内してくれたりと、たくさん経験させてくれたりもしました。故宮博物館という有名な博物館へ行き、台湾の歴史に関するものや国宝級の展示物を見たり、台湾名物の夜市でおいしいものを食べたり、宮崎駿監督の「千と千尋の神隠し」のモデルとなった九份という街にも行きました。特に印象に残っていることは、故宮博物館で見つけた翡翠の白菜です。小ぶりなのですが、まぶしいほどの輝きを放っていて、見入っていました。

体験活動としては、台湾式の書道や小麦粉を粘土にしたもので動物を作るなどの体験もしました。台湾の書道は日本の書道の書き方とは異なり、筆を細かく動かして書くため難しかったです。粘土を使って工作をする際、小麦粉を使用する理由は、昔食糧不足になったときに食べられるように小麦粉を使用してい

たことの名残ということでした。台湾の文化にも触れることができてよかったと感じました。

たくさん体験をする中で、台湾と日本の文化の違いを実感する出来事にも出会いました。食文化に関して、日本では出された料理は残さず食べるように心掛けます。しかし台湾では、全部食べてしまうという文化を知りました。台湾滞在の前半の日程で食事を全部食べていたら、台湾の学生が次から次に注文してくれ、食べきれなくなってしまうので満腹だと伝えたとこ判断した出来事でした。また、台湾の観光客向けに書かれた日本のガイドブックをたまたま立ち寄った書店で見つけました。読むことのできる中国語があったので読んでみると、興味深いことが書かれていました。日頃当たり前に行っていることが、海外では当たり前ではないということや、海外に出て初めて改めて日本を見つめ直すことができるということを実感した出来事でした。

私が台北教育大学での研修にまいりました際、教育学部同窓会から国際交流基金をいただきました。そのおかげで、研修がより充実したものであり、たくさん貴重な経験をさせていただきました。心から感謝申し上げます。今

回の体験をさまざまなところで生かし、残りの学生生活をよりよいものにしたしたいと思います。ありがとうございます。

同窓会に参加して 昭和47年卒 徳田 勢子



転勤族だったせいから、人望がないからか、はたまた同窓会費を納めていないせい

鹿児島大学同窓会 連合会だより

新学長に前田芳實氏就任
平成19年より本年3月までの6年間、9学部と大学院10研究科を束ねてこられた吉田浩己学長は、就任以来、第一期中期目標・中期計画、第二期目標・中期計画の策定と実践にリーダーシップを発揮され、鹿児島大学の発展に努めてこられました。吉田学長は

なにか、幼稚園から大学まで、一度も同窓会の案内をいただいた事ありませんでした。友人Gさんから、同期の面々のご活躍は時々聞いていましたので、Gさんにお願ひし、2年前から通知が届くようになりしました。毎年帰郷しているにもかかわらず、なかなか出席できずにはいましたが、今年母の七回忌と近い日程の上、47年卒の幹事年ということもあって、一人でも多く参加してもらった方が好都合」というGさんの言葉に甘えて、お手伝い無しの無責任なお客さま参加をしました。まさか、このような宿題が待っているとは思いませんでした。

わず……。いたずら心いっぱい同窓会長のさまのスピーチ、持ち時間を大幅に下回る名誉会長さまの簡潔な挨拶の後、懇親会は始まりました。故郷を離れてから42年。わずか4年間、栃木県小山地区で教員をした後は、完全専業主婦になりました。長い間専門職に従事されていらした皆さまの会話には入っていきないうらなと思っていました。同期ばかりの円卓に女性3名という配置で、全く疎外感を抱くこともなく、楽しい2時間を過ごさせていただきました。夫とは学年も出身地も異なっていますのに、その

編集後記

近年、気象に関する情報の多さに驚いている。ちなみに、気象に関する用語をいくつか列挙してみることにした。8月30日開始の特別警報をはじめ、これまでに経験のない大雨、直ちに命を守る行動等。8月12日国内史上最高を記録した四万十川の41.0度。8月3日志布志市で36年前の観測開始以来最高の36.5度。また、奄美大島では、117年前の観測開始後初めての連続雨量0ミリの日の記録更新等である。

どうしてこんなに異常気象が続くのか。いろいろ説はあるようだが、ハンセン博士「温暖化危機」を世界に説いたの説が最も当を得ているように思えてならない。つまり、テレコネクションである。太平洋の高気圧の張り出しにチベット高気圧の重なり、大西洋の気象変化と偏西風の蛇行、特に海水温の上昇によ

●会費納入について●

会費納入については、学生の場合は入学時に、すでに納入しているが、教育学部既卒者の場合は随時納入することになっている。同窓会は平成10年に設立され、会費は終身会費として1万円となっている。会の運営は会費によってなされ、会員の親睦や母校の発展と教育の振興を図ることを目的としている。特に、既卒者で未納になっている会員にはぜひ協力をお願いしたい。事務局としても卒業年度を決めて計画的にお願いしているが、卒業年度(学年部会)や教科部会等を通じて納入の依頼を勧めてほしい。納入の方法については、学年代表あるいは事務局に直接連絡してほしい。

連合会事業計画

- 4月 総会
- 5月 第1回幹事会
- 8月 各学部同窓会長連絡会
- 10月 第2回幹事会
- 2月 第3回幹事会
- 3月 第4回幹事会
- 3月 役員会

夫の中学時代の同級生N氏と、さらに恩師のA先生に、会場で初めてお目にかかりました。人の縁はどこまでつながっているのやら、不思議でうれしい偶然でした。

同窓会の薦めのようなコラムが新聞に掲載されています。たので、一部引用してみます。「最も頼りになるのは人脈であり、親身になって心配してくれる友人をどれだけ多く知っているかが、長い人生で大切なようになってくる。機会があれば積極的にいろいろな会や催しに参加し、できるだけ多くの友人を作っておこう。」同感です。ありがとうございます。

一方、明るい情報もまた提供された。楽天の田中将大投手(24)が開幕24連勝をマークした。同一シーズン最多連勝のプロ野球新記録である。彼は「数字は後からいくつものはいい」と。

さらに、20年東京五輪が56年ぶりに開催されることになった。経済効果3兆円との試算もあるが、今後のオリンピックの手法となるような企画・運営がなされることを期待したい。

(榎森)